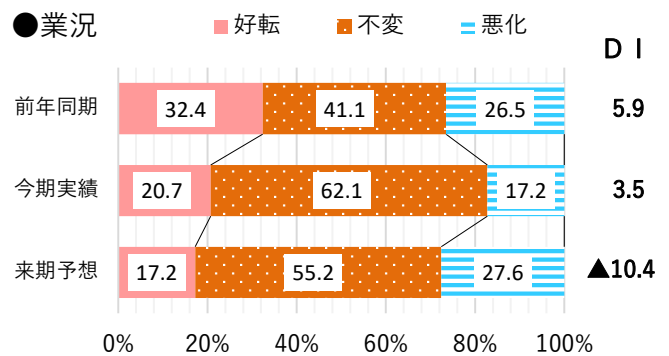


観光業

業況、売上、採算

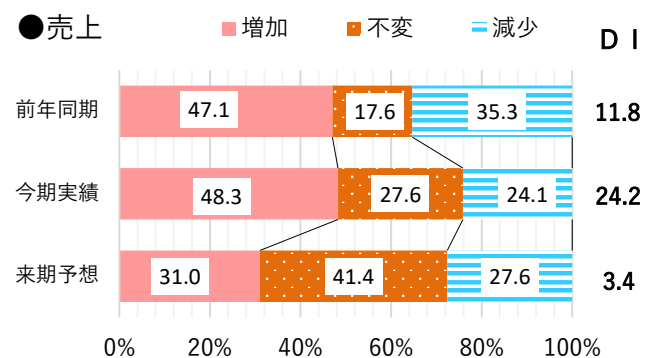
今期（2025.4～6）の業況判断DIは3.5で、前年同期（2024.4～6）と比べ2.4ポイント低下しました。

来期（2025.7～9）の業況DIは今期（2025.4～6）と比べ13.9ポイント低下すると予想しています。



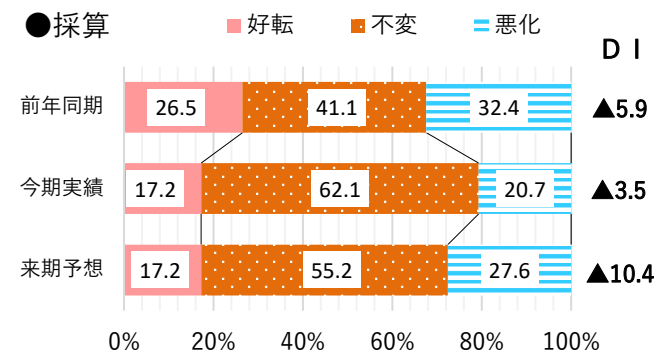
今期の売上DIは24.2で、前年同期と比べ12.4ポイント上昇しました。

来期の売上DIは今期と比べ20.8ポイント低下すると予想しています。

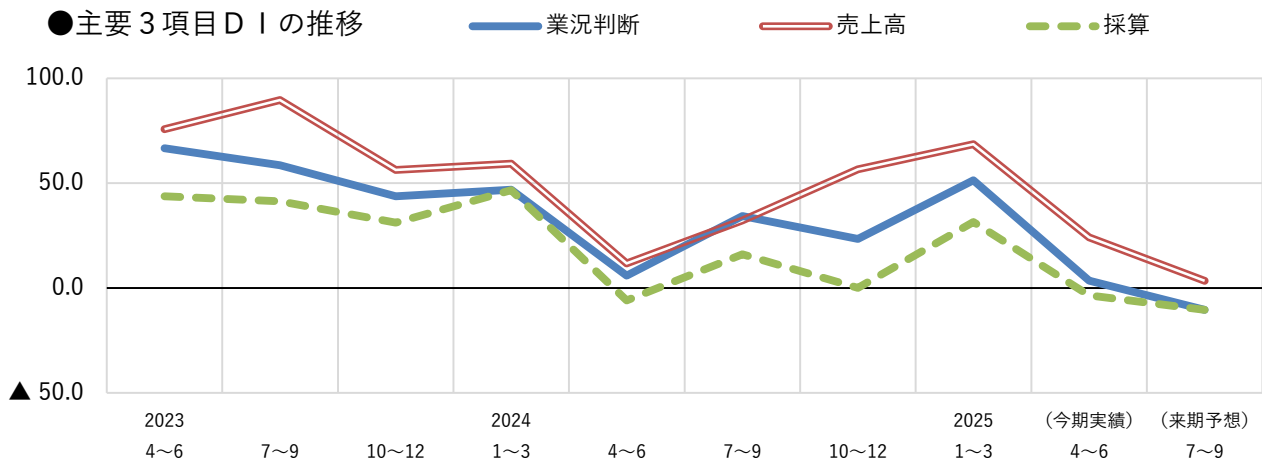


今期の採算DIは▲3.5で、前年同期と比べ2.4ポイント上昇しました。

来期の採算DIは今期と比べ6.9ポイント低下すると予想しています。



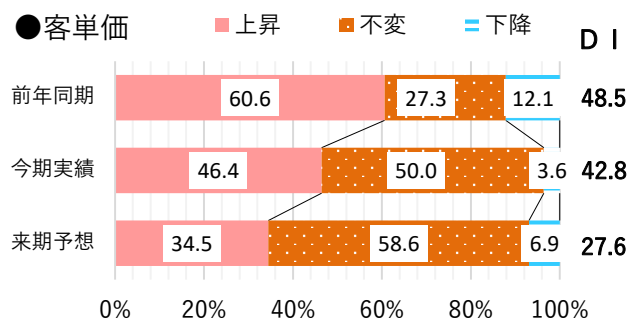
●主要3項目DIの推移



客単価、利用客数、日本人客数、外国人客数

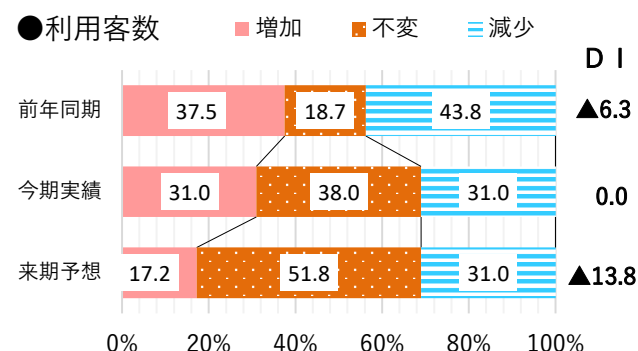
今期の客単価DIは42.8で、前年同期と比べ5.7ポイント低下しました。

来期の客単価DIは今期と比べ15.2ポイント低下すると予想しています。



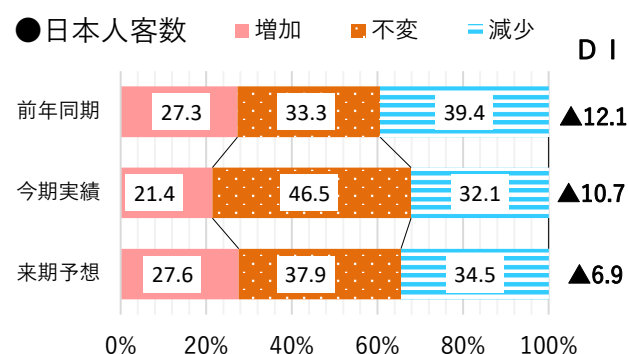
今期の利用客数DIは0.0で、前年同期と比べ6.3ポイント上昇しました。

来期の利用客数DIは今期と比べ13.8ポイント低下すると予想しています。



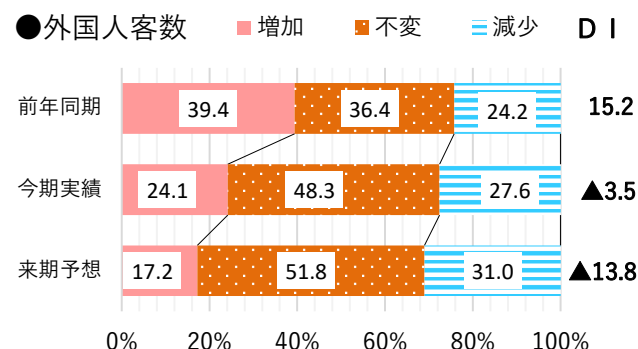
今期の日本人客数DIは▲10.7で、前年同期と比べ1.4ポイント上昇しました。

来期の日本人客数DIは今期と比べ3.8ポイント上昇すると予想しています。



今期の外国人客数DIは▲3.5で、前年同期と比べ18.7ポイント低下しました。

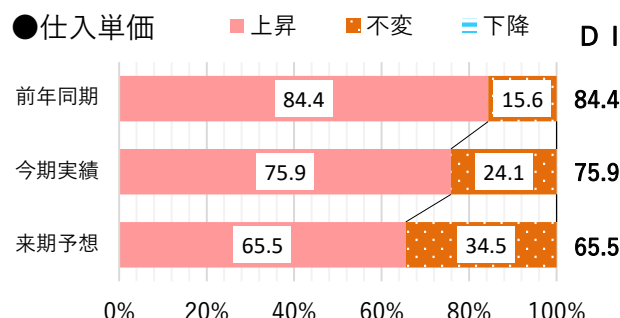
来期の外国人客数DIは今期と比べ10.3ポイント低下すると予想しています。



仕入単価

今期の仕入単価DIは75.9で、前年同期と比べ8.5ポイント低下しました。

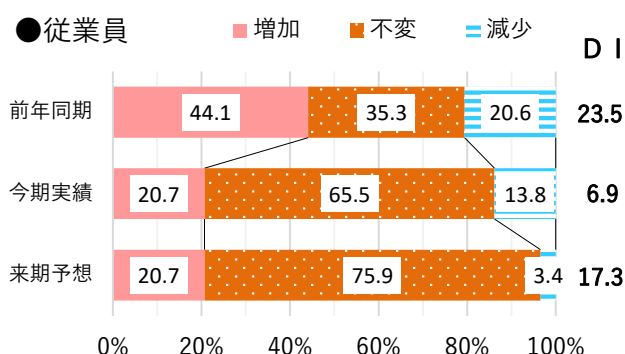
来期の仕入単価DIは今期と比べ10.4ポイント低下すると予想しています。



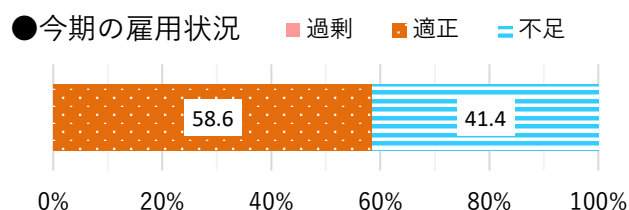
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員数DIは6.9で、前年同期と比べ16.6ポイント低下しました。

来期の従業員DIは今期と比べ10.4ポイント上昇すると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は58.6%、不足していると回答した企業の割合は41.4%でした。



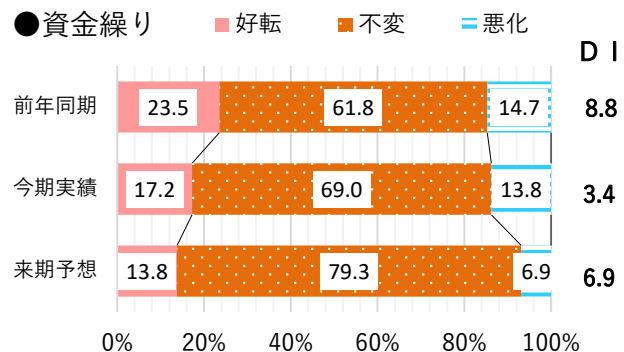
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、41.4%を占めました。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	4
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	12
	不足	7
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	3

資金繰り、設備投資

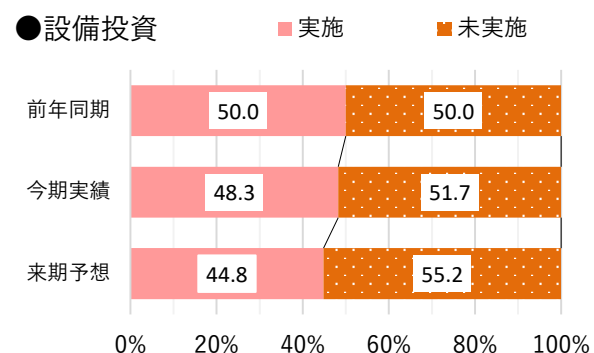
今期の資金繰りDIは3.4で、前年同期と比べ5.4ポイント低下しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ3.5ポイント上昇すると予想しています。



今期の設備投資は48.3%が実施と回答し、前年同期と比べて1.7%低下しました。投資内容は、1位が「建物」、2位が「サービス設備」、「付帯施設」（同位）の順です。

来期は44.8%が設備投資を計画していると回答しています。

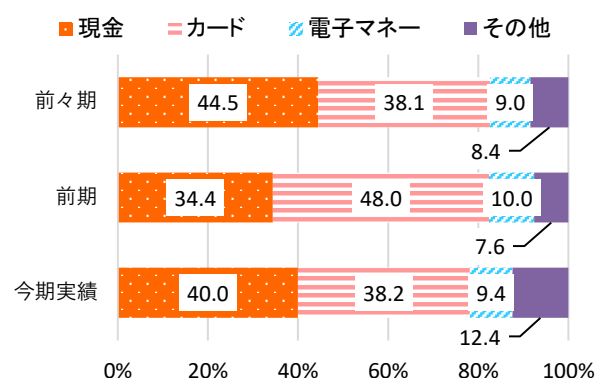


今期利用客の決済方法

今期利用客の決済方法の割合は、1位が現金で40.0%、2位がカードで38.2%、3位がその他で12.4%、4位が電子マネーで9.4%となりました。

その他で挙げられた決済方法は、掛売り、クーポン券、銀行振込、オンライン決済（d払い、paypay等）、バーコード決済の利用です。

●今期利用客の決済方法(%)

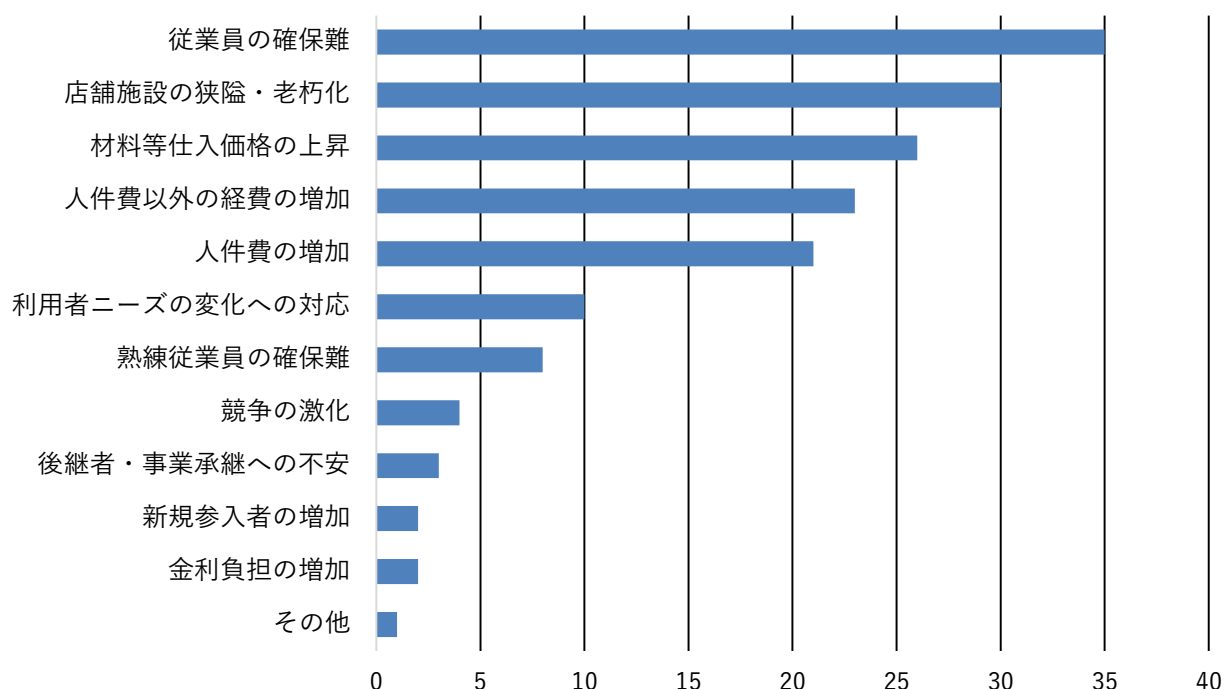


客室稼働率

今期調査で回答があった、宿泊業の平均客室稼働率は51.4%でした。

経営上の問題点

今期直面している経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「店舗施設の狭隘・老朽化」、3位が「材料等仕入価格の上昇」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 万博に行ってるのか、利用客数が減少した。（飲食）
- 日本人観光客は、人数、売上高共に堅調であったが、外国人観光客は、前期と比較してアメリカと韓国の観光客が減少した。特に外国人のバスツアー利用客の減少が顕著であったが、外国人の購買意欲は高いまま旺盛であることに加え、製品価格の値上げをしたので、売上高と利益は不変となった。しかし、製造原価と人件費は、まだ高騰しているので、収益面での厳しさはここ数年の変化がない。また、来店客の減少で、人手不足感は、想定以下だった。（土産品）
- インバウンドの利用客が以前よりも安定して来店していることで、業績が安定している。（土産品）
- 海外の利用客数は例年並だが、国内の利用客数は少し少ない気がする。（土産品）
- 製品を値上げしたことにより、原材料の値上げ分を吸収した。（土産品）
- インバウンドの利用客が増加し、客数が増えた。（土産品）
- インバウンドの利用客が安定して来店している。（土産品）
- 国内観光客の利用客数は増加したが、インバウンドの利用客数はやや減少した。（レンタカー）
- 人材確保が出来ないので、事業規模が縮小傾向にある。（レンタカー）
- 札幌の宿泊施設供給過多により小樽への宿泊需要が益々減少し、日帰りできる街という傾向が更に増している。（ホテル）
- 仕入価格や光熱費等の経費増加が、本当に厳しい。（ホテル）
- 仕入価格が高い。（ホテル）
- 売上微増だが、予約日が宿泊直近になってきており、状況判断が難しくなっている
(コテージ・ペンション)
- 売上は上がっているが、燃料などの経費が増大している。（社会教育）

- 昨年同期と比較し、悪天候の日が多く、売上・乗船客数とも若干減少したが、本年4月から正社員給与の約5%UP、パートの時給単価100円UPに成功した。（水運業）
- 売上及び利益が若干増加したことに加え、経費を若干縮減できた。（娯楽業）

[来期の業況について]

- 万博が終われば、他方面への観光も増えるのではと予想する。（飲食）
- 今期に引き続き外国人観光客の減少を予想している一方で、日本人観光客が堅調に推移すると考えている。バスツアーの予約が低調なので全体的な景況は、微減と予想した。そして、令和の米騒動で原料米の不足と価格の高騰が予定されており、今後の成り行きを大いに懸念している。また、産休取得者が複数人予定されており、夏季の最盛期に人手不足の問題に直面する。（土産品）
- 日に日にクレジットカードや電子マネーを使う利用客が増えており、現金比率が減っているので手数料が心配である。（土産品）
- インバウンドのお客様が以前よりも安定して来店されていることで業績が安定している。（土産品）
- 観光シーズンに入るので、売上額は増加すると予想する。（土産品）
- 人材確保が出来ないので、事業規模が縮小傾向にある。（レンタカー）
- インバウンドの利用客数は減少と予想する。（レンタカー）
- 人材確保が難しい。（ホテル）
- 予約日が宿泊直近になっていることで、予測と判断が難しくなっている。また、引き続き人材確保が難しく、従業員不足が予想される。（コテージ・ペンション）
- 売上は上がっているが、燃料などの経費が増大している。（社会教育）
- 来期は、1年の中で最も繁忙期となることから、今期と比較し、売上・乗船客数とも増加が見込まれる。（水運業）
- 来期は売上、仕入額が上昇する可能性が高いと予想する。（娯楽業）